

素晴らしい須走を知りたい!

「すばらしい隊」養成講座 第1・2回講座概要

伝える極意:魅力写真の撮り方／初級編・中級編

■日時：令和元年8月17日(土)9時～11時45分/8月24日(土)13時～15時45分

■場所富士浅間神社 社務所

■講師：岡田 崇 エーススタジオ株 チーフカメラマン

1. 写真は5W1Hで目的を意識して撮影する(第1回)

- ①何のために②いつ見せるものなのか③誰のために④何をみせるか
⑤なぜ見せるのか ⑥どのように

2. 伝わる写真のための構図の基礎知識(第1回)

- 黄金比1:1.618を意識する

- 写真の「構図」を考えて、撮影する



種類	内容
三分割法	画面を9つにわける。主題を交点もしくは3分割に設定する正方形フレームもある
①対角線構図	ダイナミックさ、動きを強調する構図。奥行き感や迫力を出したい時に利用。建物、構造物、道路など直線的なものに使う。
②日の丸構図	インパクトを強調する。真ん中に主題を配置するので難しい。平凡な写真になりがちなので、伝えるものが明確、インパクトが非常に強いものを撮るのに適す。
③S字構図	写真に流れを作る。アルファベット構図ともいう。遊歩道など歩いている時にSの形を探してみる。秋のススキの写真にも高低差をつけるとお洒落。
④シンメトリー構図	被写体の美しさを引き立てる、人工物と相性がいい。水平、垂直、その建物や構造物の正しい線が引けないと撮れない。ものすごく難しいので、撮った後にトリミングするといい。カメラをまっすぐ構えるのが必須条件。
⑤放射構図	奥行、写真に広がりを与える構図。参道や路地など奥に集まる収束点からの広がりを現す。収束点をどこに配置するかで素敵に写る。

3. 手法を学ぶ(第1回)

- 人物を上から撮ると「かわいさ」下から撮ると「尊厳さ」ができるなど撮り方手法も学んでいく。

4. 撮影体験(第2回)

5. 写真加工体験(第2回)

1) スナップシード(Snapseed)無料アプリの活用

- 写真左下「効果」を選択⇒「Portrait」「Smooth」「Pop」「Accentuate」等効果は11種類

- 真ん中の「ツール」を選択すると28種類ある。

(1) 画像調整:一番重要。

明るさ	変えるには左右にスライドさせる
彩度	左にスライドすると白黒、右にスライドすると色の鮮やかさが増す
アンビアンス	右に動かすと強弱が付く。色のテンションを付けることにより付加価値が付く
ハイライト	下げる。色とびをなくす
シャドウ	上げる。暗くなっているところを鈍く出す。
色温度	左スライドで青みがかり、夏の印象。右スライドで赤みがでて秋らしい印象
コントラスト	右にスライドし、上げるとハッキリくっきりした写真になる。

(2)ディティール

ストラクチャー	右スライドで輪郭や細部の強調。左スライドでぼやける、滑らかなになる
シャープ	右スライドで写真の細部のシャープさが増す。

※加工が終了したら、右下のチェックマークを押す。

(3)ホワイトバランス

色温度	赤外線 2500～紫外線 5 万ケルビン。左は青い光を足す。寒色系。右は赤い光を足す。暖色系。アンバー(電球色)からブルーまでを調整するのが色温度
色合い	Green～マゼンダまでを調整する。左=Green、右マゼンダ(Pink)

(4)カーブ	すでに構成されているものから選ぶだけでいい。
(5)切り抜き	色々な切り抜き作成。フリーでカットも可能。対角線、三分割法、放射構図の作成
(6)回転	カメラ位置が悪く、ローイングでしか撮影できない時に修正が可能。わざと傾かせたりできる。ちょっとした傾きも修正できる。
(7)射影変換	ゆがみを直せる。ひずませることができる。シンメトリーにできる
(8)アンクロップ	あまり使わない
(9)ドラマ	フィルタを使用してスタイルを追加できる。フィルタの強さ、彩度を調整できる
(10)ヴィンテージ	インスタ、Facebook などに使用。周辺減光の強さの調整。左スライドで画像の周辺が暗く、右スライドで明るくなる。周辺減光させると昔っぽい写真になる。
レトラックス	古い写真の印画紙みたいな感じになる。傷をつける
(12)グランジ	色々なスタイルが作れる。くすんだ雰囲気にできる
(13) レンズぼかし	画像へのぼかし効果。真ん中の点を指で動かし良い位置に持ってくる。 S字構図=収束点を中心に斜めに橒円を引っ張ると、道路を中心にドラマティックな感じができる。奥行きができる。
保存の仕方	項目ごとに加工が終わったら、チェックマークを押して保存すること エクスポート→「コピーを保存」を選択すると元の写真と今の画像を保存する